

氷川中の風

文責:校長

中 島 綱 紀

NO. 9

ICT機器の利活用について、**発表大会**を開催しました。

11月30日、県下からたくさんの先生方が氷川中と宮原小に学びに来られました。自慢じゃありませんが、氷川町の5つの学校ではコンピューター等を使ったどこよりも進んだ教育を日頃からやっています。この日はタブレットを使った授業を観てもらいましたが、「生徒たちは新しい機器を使いこなしている。すごい!!」「これだけの設備が充実している氷川町の学校がうらやましい。」という声がたくさんありました。氷川町の学校は最先端にいます。



キャリア教育優良学校等文部科学大臣表彰を受賞!!

この表彰は、将来にわたってたくましく生きていく力を育てる教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる学校等について、文部科学大臣から表彰される賞です。なんと、今年度は氷川中が全国22の優良中学校の一つに選ばれました。氷川中では日頃からコミュニ



ティ・スクールの取組として、たくさんの町の大人たちに生徒の心と体を育てていただいています。祭りや行事にも参加しています。農業・職場体験をさせてもらっています。バザーでは、仕入れや販売の指南をしていただいています。学校行事を見えないところで支えていただいています。そんな活動の中で、生徒たちは町の大人たちの背中に「生きる力」とは何かを学んでいます。だから、この賞は氷川町・龍峯町の大人たちへの生徒からの**感謝状**です。町の皆さん、ありがとうございます。おめでとうございます。

います。

イグサの植え付けに思う、3年生。

底冷えする冬の朝、イグサの植え付けが始まりました。小さいころから見慣れた冬の風物詩です。冷たい風と水の中で植え付けをされている農家の方にただ頭が下がります。イグサはこの後、茶色化し寒さに耐えて春には緑をより濃くします。本校では3年生たちが三者面談を重ねて、高校等への進路を決めていきます。1・2月の受験勉強が喜びの春へ続く道です。だから、私たち教員は「育てよ。育て。」と声をかけ続けていこう。泥にまみれて植え付けをされる農家の方の姿をみていてそう思いました。

